

(様式第1-2号)

平成22年度 農業主導型6次産業化整備事業実施計画

1 6次産業化法人について

(1)6次産業化法人の概要

| | | | |
|------------|---------------------|------------|---------------------------|
| 6次産業化法人の名称 | 組織の形態 | 代表者名 | 設立年月日 |
| 株式会社高橋牧場 | 農事組合法人以外の農業生産法人 | 高橋 守 | 平成22年4月16日 |
| 主たる事務所の住所 | 北海道虻田郡ニセコ町字曾我857番地2 | TEL FAX | セキュリティに配慮し、 非公開といたします。 |

(2)6次産業化法人の構成員

| 構成員の氏名 | 年齢 | 住所・所在地 (都道府県市町村名) | 出資金額 | 出資比率 | 備考 (農業生産法人である場合) |
|--------------------------------------|----|----------------------|-------------|---------|---------------------|
| 当該項目については個人情報を含むため、非公開といたします。 | | | | | |
| | | | 9,000,000 円 | 100.0 % | |

(注) 備考欄には、農業生産法人である場合に農地法第2条第3項第2号に掲げる要件のいずれかを記入すること。この場合、常時従事者は「常」、農地等の使用収益権を移転・設定しているときはその旨を記入すること。

(3)6次産業化法人の経営状況

| 項目 | |
|-----------------------|---|
| 総収入(A) | 当該項目については企業の経営内容の詳細を含むため、 非公開といたします。 |
| 総支出(B) | |
| 売上高(C) | |
| 営業利益(D) | |
| 経常利益(E) | |
| 当期利益 (A-B) | |
| 総資本(G) | |
| 自己資本(H) | |
| 総負債(I) | |
| 収支率 (A/B×100) | |
| 総資本経常利益率 (E/G×100) | |
| 売上高経常利益率 (E/C×100) | |
| 負債比率 (I/H×100) | |

- (注)
- 1 総収入＝売上高＋営業外収益＋特別利益
 - 2 総支出＝売上原価＋販売費及び一般管理費＋営業外費用＋特別損失
 - 3 営業利益＝売上高－売上原価－販売費及び一般管理費
 - 4 経常利益＝営業利益＋営業外収益－営業外費用
 - 5 負債比率＝総負債(他人資本)÷自己資本×100

(4)6次産業化法人の現状及び課題

| | |
|-------------------|--|
| <p>現状と課題</p> | <p>[概要] 高橋牧場は、ニセコ町曽我に第一牧場(乳牛150頭前後飼育)、真狩村社に第二牧場(乳牛100頭前後飼育)を有し、年間約1,200tの牛乳と100頭前後の個体を生産している。 平成9年にブラウンスイス種とホルスタイン種からの牛乳を原料に加工・販売施設・ミルク工房を設立、約120tの牛乳を使用している。商品の品と味の良さの評判は高く、現在ではニセコ町の人気観光スポットの一つになっている。</p> <p>[沿革] 昭和47年 父より経営委譲 昭和51年 牛舎・サイロの増築、搾乳器具等の施設整備 昭和61年 育成舎1棟新設 平成9年 アイスクリーム工房「ミルク工房」を開店 平成12年 畜産環境整備(堆肥舎・尿溜の増設) 平成15年 第二牧場取得 平成16年 ミルク工房 菓子部門開始</p> <p>[商品] アイスクリーム、ソフトクリーム、のむヨーグルト、お菓子類(シュークリーム、ロールケーキ、プリン、チーズケーキ、かすてら等)、生乳</p> <p>[所得] 年間農業所得 48,450千円</p> <p>[雇用] 常時雇用者(年間) 31人 臨時雇用者(年間) 5人(延人数750人)</p> <p>[事業に取り組むこととなった背景] ニセコ町には、年間約145万人の観光客が訪れ、近年ではアジア圏などからの外国人観光客も増えている。このような状況において、地域の観光と農業事業者との連携による、地産地消型のレストランや地域の食材などを活かした加工品開発を中心とした「ニセコ東山フードプロジェクト事業」が進められている。 これらを踏まえ、ニセコに訪れた人に対し、地域の農畜産物を楽しんでもらうとともに、ニセコ町全体の活性化を図るため、農家レストラン&マルシェを整備する。</p> |
| <p>6次産業化の展開方針</p> | <p>[6次産業化の展開方針] 既存の2つの牧場による畜産物と、地域の野菜生産農家と連携して、それらを加工・提供する新たな施設として農家レストラン&マルシェ(マルシェはレストランの一部)を整備し、農業から2次産業、3次産業への展開を図る。 レストランの主なメニューは、サラダバー・パスタ(牛肉のラグーまたは北あかりのニョッキ)・スイーツ4種(プリン・チーズケーキ)のうち2種のセットメニューであり、この原材料は、地元野菜農家(農家8戸)及び自社から調達し、地元料理人の調理スタッフ6名(アシスタント含む)により、ニセコ町及びミルク工房に訪れる観光客、また地元住民に提供する予定である。この新たな展開により、ニセコの農産物のPR、地産地消の食の基盤づくりが推進し、ひいてはニセコ地域の観光集客力につながることを目指している。</p> |

①農業生産

| 作物・部門別 | 計画時 | | 目標年度 | |
|--------|---------|---------|---------|---------|
| | 作付面積等 | 生産量 | 作付面積等 | 生産量 |
| 乳牛 経産牛 | 141 頭 | 1,162 t | 155 頭 | 1,291 t |
| 乳牛 育成牛 | 101 頭 | 101 頭 | 110 頭 | 110 頭 |
| 牧草 | 74.1 ha | 2,594 t | 74.1 ha | 2,742 t |
| デントコーン | 27.0 ha | 1,431 t | 27.0 ha | 1,485 t |

②加工(2次産業分野)

| 作物・部門別 | 内容 | 製造量 | |
|--------|--------------|-----|----------|
| | | 計画時 | 目標年度 |
| 生乳等 | サラダバー | 0 食 | 36,500 食 |
| | 牛肉のラグー | 0 食 | 18,250 食 |
| | 北あかりのニョッキ | 0 食 | 18,250 食 |
| | ミルクのカスタードプリン | 0 食 | 18,250 食 |
| | ミルクの白いプリン | 0 食 | 18,250 食 |
| | ミルクスフレチーズケーキ | 0 食 | 18,250 食 |
| | ミルクのレアチーズケーキ | 0 食 | 18,250 食 |

③流通・販売(3次産業分野)

| 作物・部門別 | 内容 | 販売額 | |
|--------|------|------|-----------|
| | | 計画時 | 目標年度 |
| 生乳等 | ランチ | 0 千円 | 47,700 千円 |
| | ディナー | 0 千円 | 30,000 千円 |
| | マルシェ | 0 千円 | 2,700 千円 |

3 成果目標及び達成プログラム

(1) 目標設定

| 項目 | 計画時 (平成21年度) | 1年度目 (平成22年度) | 2年度目 (平成23年度) | 3年度目 (平成24年度) | 4年度目 (平成25年度) |
|--|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| (所得の向上に関する成果目標) | 340,970 千円 | 404,292 千円 | 419,586 千円 | 435,103 千円 | 462,143 千円 |
| 売上高の増加 | 100.0 % | 118.6 % | 123.1 % | 127.6 % | 135.5 % |
| (雇用の創出に関する成果目標) | 36 人 | 48 人 | 48 人 | 48 人 | 48 人 |
| (地域の活性化に関する成果目標) [地元農家からの野菜の調達により原材料費の増加] | 0 千円 | 9,100 千円 | 10,400 千円 | 11,700 千円 | 13,000 千円 |

(2) 目標設定の考え方

| 項目 | 目標設定の考え方 |
|--|---|
| (所得の向上に関する成果目標) 売上高の増加 | 農家レストラン及びマルシェの年間売上80,400千円を目標とし、1年度目に年間売上目標の70%増加、以降4年度目に年間売上目標の100%増加を目標とする。 加えて、既存のミルク工房の年間売上234,752千円(H21年)に対し、1年度毎に3%の増加を目標とする。 なお、乳牛・飼育牛については、経営改善計画のとおり、平成21年度106,216千円から、平成26年度には117,528千円増加するものとする。 |
| (雇用の創出に関する成果目標) 雇用の増加 | 施設整備に伴い、農家レストランの調理職員2人、調理アシスタントスタッフ4人、サービススタッフ5人、清掃スタッフ1人の雇用者12人の雇用増加を目標とする。 |
| (地域の活性化に関する成果目標) [地元農家からの野菜の調達により原材料費の増加] | 地元の野菜の調達について、地元野菜農家8戸と連携し、目標年度で約9,500千円を目指し、1年度目のH22年度6,650千円(70%)、2年度目のH23年度7,600千円(80%)、3年度目のH24年度8,550千円(90%)という増加を見込み、地域の活性化に寄与する。 |

4 整備計画等

(1) 機械・施設等の整備計画

| No. | 事業主体名 | 整備内容 | | 工期 | | 機械・施設の 設置・保管住所 |
|-----|----------|-----------|--------------------------|-------------|------------|-------------------|
| | | 施設名 | 事業量 (規模、台数等) | 着工 年月日 | 竣工 年月日 | |
| 1 | 株式会社高橋牧場 | 農畜産物提供施設 | 1棟 326.27 m ² | 平成22年11月19日 | 平成23年3月15日 | 二セコ町字曾我878-8 |
| 2 | | (農家レストラン) | | | | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |

| No. | 総事業費 | 負担区分 | | | 融資先 | | 備考 |
|-----|-----------|-----------|-----------|------|--------------------|------|--|
| | | 国庫補助金 | 自己資金 | その他 | 金融機関名 | 償還年数 | |
| 1 | 99,752 千円 | 47,501 千円 | 52,251 千円 | 0 千円 | 北海道信用農業 協同組合連合会 | 10 年 | 補助率 1/2 除税額 4,750(千円) うち国費 2,375(千円) |
| 2 | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | |
| 計 | 99,752 千円 | 47,501 千円 | 52,251 千円 | 0 千円 | | | |

- (注) 1 工期欄には、申請時にあつては着工及び竣工予定年月日を、実績報告時にあつては実際の着工及び竣工年月日を記入すること。
- 2 担保欄には、補助対象物件を担保に供し、自己資金の全部又は一部を金融機関から融資を受けようとする場合に記入すること。
- 3 備考欄には、国庫補助率を記入するとともに、仕入れに係る消費税等相当額について、これを減額した場合には減額した金額を、仕入れに係る消費税等相当額がない場合には「該当なし」と、仕入れに係る消費税等相当額が明らかでない場合には「含税額」とそれぞれ記入すること。
- 4 補助金実績報告時において、承認のあった事業実施計画のうち整備計画の内容に変更が生じた場合には、本様式の4の(1)整備計画を修正して添付すること。

(2) 事業費低減の方策

| 施設等名 | 事業費低減の具体的方策 |
|----------|-----------------------------|
| 農畜産物提供施設 | 施工方法について、指名競争入札を行い事業費低減を図る。 |
| | |

(3) 関連事業

他の補助事業で整備した機械・施設等

| 事業名 | 事業内容 | 実施年度 | 利用計画 | 利用実績 | 利用率(%) |
|-----|------|------|------|------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |

(4)機械・施設等の利用計画

| 事業実施主体 (管理主体) | 構造・規格 | 規模・台数 | 管理運営 従事者 | 利用(稼働)期間 | 施設運営に係る 収入/年間(千円) | 施設運営に係る 支出/年間(千円) |
|------------------|-------------------------|---------|------------------|----------|----------------------|----------------------|
| 株式会社高橋牧場 | レストラン (在来木造 平屋建て) | 326.27㎡ | 職員 2人 パート 10人 | 通年(360日) | (内訳) 80,400 | (内訳) 53,240 |

| 対象作目 | 稼働計画(販売額)/年間 | 適正かつ十分な利用が見込まれる理由 |
|------|----------------|--|
| 生乳等 | 47,700千円(ランチ) | <p>ニセコ町への観光客は約1,500千人(内宿泊客約400千人)で、最近4~5年は安定している。今後は現在進められているリゾート施設開発により入込増は見込むことができる。また、ミルク工房への来客数は200千人であり、観光入込数に占める割合は約13%である。</p> <p>レストランの利用客数は現在のニセコ町への入込数を基に、日帰り客1,100千人×2.5%=27.5千人、宿泊客400千人×1.75%=7千人、地元住民2,000世帯のうち半数が年1回2人で来客することを想定し2千人、合計36.5千人を見込む。</p> <p>また、マルシェの利用客数は、レストラン利用者の約10%の3千人及びミルク工房利用者の3%の6千人、合計9千人を見込む。</p> |
| | 30,000千円(ディナー) | |
| | 2,700千円(マルシェ) | |

(注)1 機械・施設等ごとに作成すること。

2 処理量は機械・施設等に応じて、(t・千円・ha)等を記入すること。

5 費用対効果分析

| 項目 | 効果等 | 備考 |
|---------------------|---------|----|
| 総事業費:A(千円) | 99,752 | |
| 1 効果の内訳(年効果額):B(千円) | | |
| (1)直接効果 | 32,021 | |
| ①生産向上効果 | 41,061 | |
| ②経費節減効果 | -29,040 | |
| ③経営基盤保全効果 | 0 | |
| ④農外所得増加効果 | 20,000 | |
| (2)間接効果 | 0 | |
| ①地域所得増加効果 | 0 | |
| ②洪水防止効果 | 0 | |
| ③水源かん養効果 | 0 | |
| ④土壌浸食防止効果 | 0 | |
| ⑤土砂崩壊防止効果 | 0 | |
| ⑥有機性廃棄物処理効果 | 0 | |
| 2 直接効果比率:直接効果額/年効果額 | 100% | |
| 3 廃用損失額:C(千円) | 0 | |
| 4 還元率:D | 0.10 | |
| 5 総合耐用年数 | 12.7 | |
| 6 妥当投資額:E=B/D-C | 314,703 | |
| 7 投資効率:F=E/A | 3.15 | |